

医療用品メーカー・ダイヤ工業（岡山市南区古新田）は、犬専用の首サポーターを開発した。首に巻くベルト式で、頭の動きを制限して患部を安定させる。

ダイヤ工業

ダックスフントやトイプードルなどの小型犬向け。内部は樹脂パッドで、カバーは皮膚を傷つけないよう、柔らかくてクッション性のある化学繊維を採用している。

犬用首サポーター開発



ダイヤ工業が開発した犬の首サポーター

ベルト式頭の動き制限

首の太さが18〜27センチ、長さ6〜8センチに対応。樹脂パッドは2本を組み合わせた構造で、幅を変え

られる。商品名は「アニ

個の販売を目指す。同社によると、ダックスフントのような犬種は加齢などが原因で頸椎を痛めやすい。現在は専用サポーターが普及しておらず、獣医師らが固定具を個別に作って対応するケースが多いという。

ダイヤ工業は「手軽に使える既製品が欲しい」という獣医師の声を受けて開発した。飼いだの高齢化に伴って拡大するニーズに「応えたい」としている。（伊東圭一）

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。